

VIVA DOG 通信 秋川店 Vol. 11

いよいよ夏本番の暑さとなってきました。日本の夏は湿度が高く、常にジメジメしています。この季節はご家庭でわんちゃんシャンプーをされる方もいらっしゃると思います。そんな方必見！**ご家庭でのシャンプー時の注意点**を今回はお話いたします。

その1. しっかり洗浄を行うこと

わんちゃんの皮膚や被毛の汚れは残りやすく、1回のシャンプーでは落とすきれない場合が多いです。そして皮膚の厚さはヒトの1/3~1/5しかなく、実はとってもデリケートなんです。

☆ しっかり、といってもゴシゴシ洗うことは厳禁です！シャンプー剤を泡立ててから優しく2~4回(汚れ具合に応じて)洗いましょう。



その2. しっかりすすぐこと

自宅シャンプー後の皮膚トラブルの原因として最も多いのが『すすぎ残し』です。シャンプー剤などが皮膚に残った状態 = 常に皮膚が刺激を受けている状態 → フケ、痒み、湿疹が生じます

更に、市販されているシャンプー剤は飼い主さんが使いやすいように洗浄力の強い(= 皮膚への刺激性が強い)ものが多いので注意が必要です。

☆ 洗浄にかかった時間の倍以上の時間をかけてしっかりすすぎましょう！



その3. しっかり乾かすこと

よく遭遇するのが被毛の表面のみが乾いていて、内側の被毛や皮膚が湿っている状態です。これは菌が繁殖する絶好の環境、「高温多湿」です。これにより皮膚トラブルが起こります。

☆ ブラシやコームを使用し、毛を立ち上げ根元からしっかり乾かしましょう！



診療所コーナー

毎日うだるような暑さが続いていますね。わんちゃん、ねこちゃんも熱中症には充分注意をしてください。

今回は**熱中症**についてお話いたします。



犬や猫は熱中症になりやすい！！

- 犬や猫には汗腺がほとんどないため、ヒトのように発汗して体温を下げるのがほとんどできません。
- **短頭種** (パグ、チワワ、フレンチブルドッグなど) は特に呼吸による体温の放散が苦手で、熱を体内にため込みやすいので気をつけましょう。
- **肥満**の子は体を覆っている脂肪が体温の放出を妨げ、さらに首周りの脂肪で気道が圧迫されて呼吸がしづらいため体温調節が難しくなります。
- 体の機能が未発達な**幼齢期**の犬猫、生理機能が低下している**高齢**の犬猫は体温調節がうまくできないため、要注意です！

気温だけでなく、湿度や風通しにも気をつけましょう！



日中の運動やお散歩は絶対に避けてください。



万が一、下記のような症状が見られたら**すぐに**病院にいらしてください。

- ★ 呼吸が速く、粘り気のあるよだれを大量にたらす
- ★ 口や眼の粘膜が充血している
- ★ 嘔吐、下痢
- ★ ふらついている



VIVADOG 秋川店 営業時間 9:30~19:00 水曜定休
ペペ犬猫診療所 水、木休診 ご予約優先
☎ 042-558-4848

